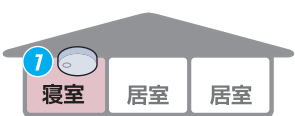


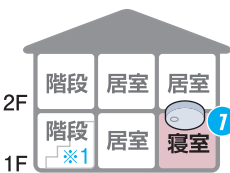
# 取り付け場所早見表

1階建て

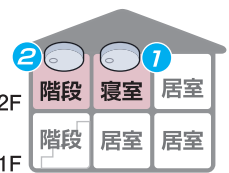
2階建て



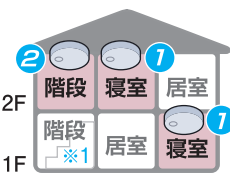
■寝室が1部屋ある場合、その寝室に必要です。



■寝室1階のみ  
寝室が1階に1部屋ある場合、その寝室に必要です。

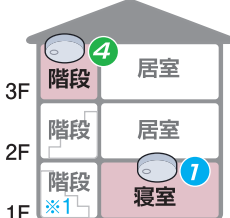


■寝室2階のみ  
寝室が2階に1部屋ある場合、その寝室と階段(2階)の2か所に必要です。

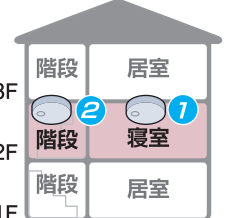


■寝室1階、2階  
寝室が1階と2階に1部屋ずつある場合、その寝室と階段(2階)の3か所に必要です。

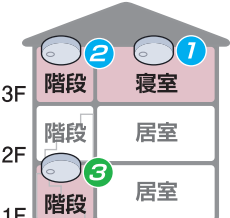
3階建て



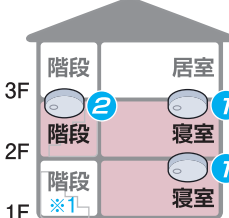
■寝室1階のみ  
寝室が1階に1部屋ある場合、その寝室と階段(3階)の2か所に必要です。



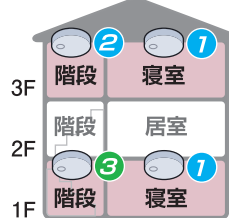
■寝室2階のみ  
寝室が2階にある場合、その寝室とその寝室がある階の階段(2階)の2か所に必要です。



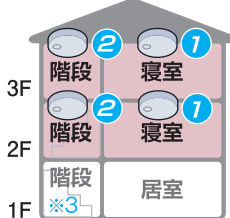
■寝室3階のみ  
寝室が3階にある場合、その寝室と1階の階段と寝室がある階(3階)の3か所に必要です。



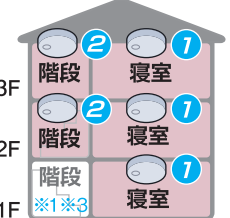
■寝室1階、2階  
寝室が1階と2階にある場合、寝室とその寝室のある階(2階)の3か所に必要です。



■寝室1階、3階  
寝室が1階と3階にある場合、その寝室とその寝室のある階(1階と3階)の4か所に必要です。




■寝室2階、3階  
寝室が2階と3階にある場合、その寝室とその寝室のある階(2階と3階)の4か所に必要です。



■寝室1階、2階、3階  
寝室が1階、2階、3階にある場合、その各寝室と寝室がある階の階段(2階と3階)の5か所に必要です。(この場合1階は除く)

5 7㎡以上の居室がある場合



警報器を設置する必要がなかった階で寝室を除く居室(7㎡以上)が5部屋以上ある場合に、廊下に設置が必要です。

## 必ず設置

### 1 寝室 煙式

普段の就寝に使われる部屋に設置します。子供部屋や高齢者の居室なども、就寝に使われている場合は対象となります。

### 2 階段 煙式

寝室がある階の階段 ※1※2に設置します。

- ※1 1Fの階段は設置不要。
- ※2 屋外に設置された階段を除く。

## 条件により設置

### 3 階段 3階建て以上の場合(1) 煙式

寝室がある階から、2つ下の階の階段※2に設置します。  
[その階段の上階に警報器が設置されている場合は設置不要(※3参照)]

### 4 階段 3階建て以上の場合(2) 煙式

寝室が1Fのみにある場合は、居室のある最上階の階段に設置します。

### 5 廊下 煙式

寝室を除く居室(床面積7㎡以上)が5以上ある階の廊下に設置します。

## 市町村条例によっては設置が必要

### 6 台所 熱式 または 煙式 ・その他居室 煙式

台所:今お住まいの市町村の条例により、熱式の設置が認められており、かつ大量の煙や蒸気がかかるような場合は熱式をおすすめします。

## 台所などへの警報器の設置も推奨されています。

(総務省消防庁通知:平成16年12月15日・消防安第227号より)

住宅における火災の予防を推進するため、寝室のほか、台所その他の火災発生のおそれが大であると認められる住宅の部分における住宅用防災警報器等の設置に努めるものとする。  
一部の市町村では、台所への設置が義務づけられましたので、所轄消防署にご確認ください。

- ❶ 設置基準は各市町村条例によって定められます。詳細については所轄消防署にご確認いただくか、販売店にお尋ねください。
- ❷ 賃貸住宅にお住まいの方は、設置について所有者様・管理者様にご確認ください。